

平成25年度 事業報告書

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

I. 青少年活動

1. 子ども自然体験活動

(1) 夏期子ども自然体験キャンプ

〈別表-1〉

ア. 「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 8月＜各3泊4日間＞
 開催数 4会場（あっさぶ、桧原湖畔、いばらき、沖縄）
 スタッフ等 136名
 参加者 288名（内、被災者招待25名、障害児8名）

イ. 「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 ＜各3泊4日間＞
 開催数 2会場（富士山、関西）
 スタッフ等 87名
 参加者 254名

ウ. 連合会等組織共催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 ＜各3泊4日間＞
 開催数 6会場（美幌、房総、岐阜、広島、北部九州、鹿児島）
 スタッフ等 227名
 参加者 280名（内、招待障害児8名）

エ. 子ども自然体験キャンプ担当者会議及びSYDキャンプアカデミー準備委員会

期 間 5月3（金・祝）～5月5日（日） ＜2泊3日＞
 会 場 ばんだいふれあいぴあ
 スタッフ等 6名（白井伊征子、青木富造、武田数宏、古城門奈津、志村和也、谷野渉）
 参加者 9名（各地キャンプ担当者）

オ. キャンプ主事・事務担当者

キャンプ名	主 事	事務担当者	キャンプ名	主 事	事務担当者
①あっさぶ	根岸秋吉	真下淳一	②桧原湖畔	青木富造	古城門奈津
③いばらき	山崎政弘	古城門奈津	④富士山	寺岡 賢	板倉和也
⑤関 西	寺岡 賢	板倉和也	⑥沖 縄	青木富造	古城門奈津

カ. キャンプ事前調査

No.	キャンプ名	実 施 日	派遣講師
1	あっさぶ	6月 5日(水)～6月 7日(金)	根岸 秋吉
2	桧原湖畔	6月17日(月)～ 19日(水)	志村 和也 谷野 渉
3	いばらき	7月 3日(水)～7月 4日(木)	山崎 政弘
4	沖 縄	7月21日(日)～ 23日(火)	青木 富造

キ. 印刷物の作成《子どもゆめ基金助成活動》

①「子ども自然体験キャンプ」リーフレットの作成

部 数 30,000部（内15,000部は助成対象外）
体 裁 A3版、4色刷

②「子ども自然体験キャンプ」報告書

部 数 1,200部
体 裁 A4版、92頁

（２）冬期子ども自然体験（スキー）キャンプ（東日本大震災被災者特別招待）

《第1回》

開催日 12月26日(木)～30日(月) ＜4泊5日＞
開催地 福島県（ばんだいふれあいぴあ及び裏磐梯スキー場）
指導者等 5名（高橋源一郎・相田好美〈SAJスキー指導員〉、
青木富造、古城門奈津、志村和也、谷野渉）
参加者 86名（リーダー30名、キャンパー56名〈内、被災者招待12名〉）

《第2回》

開催日 平成26年3月26日(水)～30日(日) ＜4泊5日＞
開催地 福島県（ばんだいふれあいぴあ及び裏磐梯スキー場）
指導者等 5名（高橋源一郎・相田好美〈SAJスキー指導員〉、
青木富造、志村和也、谷野渉）
参加者 45名（リーダー15名、キャンパー30名〈内、被災者招待9名〉）

（３）夏期少年少女合宿講習会（青年会議所との共催事業）（会場：SYD伊勢青少年研修センター）

期 日	名 称	参 加 者
7月31日(水)～8月2日(金)	伊勢少年少女合宿講習会	130名
8月15日(水)～17日(金)	岸和田少年少女サマースクール	92名
合 計	2 回	222名
前年度	2 回	194名

（４）第13回ナイトウォーク親子の集い（会場：SYD伊勢青少年研修センター）

開催日 9月7日(土)～8日(日)
対 象 小学3年生以上の子どもと大人
参加者 130名

2. 子どもボランティア活動推進事業

（１）東日本大震災被災者支援/青少年仮設住宅訪問（炊き出し）ボランティア〈別表－2〉

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 4月～平成26年3月 ＜各1泊2日～2泊3日間＞
開催数 8回
活動場所 福島県、宮城県内の仮設住宅
スタッフ 24名（ボランティア含む）
参加者 183名（リーダー19名、参加者149名、現地参加者15名）

(2) 幸せの種まきキャンペーン《文部科学省後援》

ア. 幸せの種まきキャンペーン《出前講座》の実施

〈別表－3〉

開催数 84会場
派遣講師 2名（青木富造、山口千恵子）
体験発表者 7名（糸数安夏、山口祐也、尾崎優、柴田大輔、矢野千瑛、伊藤綾香、小林歩）
参加者 12,407名

イ. パンフレットの作成・配布

部数 14,000部
体裁 A4版、8頁、4色刷
配布先 14,000ヶ所

(3) 子どもの学VIVA《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表－4〉

ア. 絆を深めよう！子ども^{まなび}学VIVA

開催数 9会場
指導者等 62名（指導者17名、青年指導者45名）
参加者 461名

イ. 子どもの^{まなび}学VIVAリーダー研修会

開催数 9会場
指導者等 14名
参加者 107名

3. SYD指導者の養成

(1) 全国青年ボランティア・アクション in 福島

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

《第1回》

開催日 7月26日(金)～31日(水)＜5泊6日＞
会場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、宮城県名取市ほか
講師 2名（遠藤信幸：町立三春病院ケアワーカー、高橋源右衛門）
スタッフ 6名（山崎一紀、青木富造、山口千恵子、岩佐加寿子、志村和也、谷野渉）
参加者 30名（全国の中学生及び高校生等）＋ボランティア参加1名

《第2回》

開催日 平成26年3月31日(月)～4月5日(土)＜5泊6日＞
会場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、宮城県名取市ほか
講師 2名（遠藤信幸：町立三春病院ケアワーカー、高橋源右衛門）
スタッフ 5名（山崎一紀、青木富造、山口千恵子、古城門奈津、志村和也）
参加者 35名（全国の中学生及び高校生等）

*全国青年ボランティア・アクションin福島事前調査

期日 《第1回》：6月30日(日)～7月 2日(火)＜2泊3日＞
《第2回》：3月18日(火)～3月20日(木)＜2泊3日＞
派遣者 青木 富造
会場 福島県下（喜多方市、会津若松市 他）

(2) 全国青年ボランティア・フェスティバル

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

開催日 11月2日(土)～4日(月・祝) <2泊3日>
 会場 国立中央青少年交流の家
 講師 1名 荒川祐二(社会活動家)
 指導者等 6名(山崎一紀、青木富造、山口千恵子、古城門奈津、志村和也、谷野渉)
 参加者 38名(実行委員6名、参加者32名)

(3) 報告書の作成

部数 500部
 体裁 A4版 85頁

4. 青年組織育成活動

(1) SYDキャンプアカデミー《子どもゆめ基金助成活動》

ア. モデル事業の実施

No.	協力団体	実施日	会場名	講師	参加者
1	SYD青年部 (福島)	6月29日(土) ～30日(日)	ばんだいふれあいぴあ	三瓶 利正 辻 明宏 青木 富造 志村 和也 谷野 渉	18名
2	SYD鹿児島 (鹿児島)	6月29日(土) ～30日(日)	八重山公園キャンプ場	山崎 政弘	18名
3	沖縄ヤングゼ ネレーション (沖縄)	7月20日(土) ～21日(日)	県立玉城青少年の家	安仁屋 聡 呉我 春茂 宮城 守 青木 富造	19名
4	SYD広島 (広島)	2月15日(土) ～16日(日)	廿日市市立ネイチャー体験 グリーンリゾート「魅惑の里」	石田 博嗣 青木 富造	10名
合 計				12名	65名

イ. 準備委員会の実施

子ども自然体験キャンプ担当者会議(1頁エ)と合同で開催した。

(2) 青年ボランティアゼミナール《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-5〉

期 間 4月～平成26年2月 <金曜日18:30～21:00>
 開催数 10回
 会 場 SYD会議室・SYDホール
 講 師 12名
 出席者 259名

(3) ばんだいふれあいぴあ 整備ボランティア

期 日 9月21(土)～9月23日(月・祝) <2泊3日>
 会 場 ばんだいふれあいぴあ
 スタッフ 2名(青木富造、志村和也)
 内 容 木製テーブルの作成、センター軒のペンキ塗り、キャンプサイト整備 等
 参加者 9名

(4) 協力活動

ア. 映画「happy～しあわせを探すあなたへ～」上映会

主催団体 happiness is...
期 日 5月12日(日) 13:00～18:00 (開場12:45)
会 場 SYDホール
協力スタッフ 山口 千恵子、古城門 奈津、志村 和也、谷野 渉
内 容 映画上映のほかトークライブや学生団体によるブース展示。
来 場 者 159名

イ. Hinaharap～痛みを過去にしないために～フィリピン×陸前高田チャリティーイベント

主催団体 チャリティーイベント実行委員会
期 日 3月8日(日) 13:30～18:30
会 場 SYDホール
協力スタッフ 古城門 奈津、谷野 渉
内 容 東日本大震災ドキュメンタリー映画上映のほか、陸前高田(同映画監督)及びフィリピンレイテ島(青年海外協力OB)での支援活動と現状についての講演、またゲスト2名による対談。
来 場 者 82名

5. 関係機関・団体との協力

(1) 会議出席

〈別表－6〉

青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動の充実を図り、青少年教育及び社会教育の関係機関・諸団体との協力・連携を図ることを目的に、会議に出席した。

(2) 見学訪問受け入れ(修学旅行生)

期 日	学校名	担当者
5月15日(水)	仙台市立長町中学校	青木富造、山口千恵子
5月30日(木)	四日市市立港中学校	青木富造、山口千恵子

(3) 指導者の派遣及び青少年組織活動への助成

組織からの要請により、指導者の派遣及び青少年活動への助成を行った。

ア. 共催キャンプへの講師・スタッフ等派遣

キャンプ名	実 施 日	派遣講師	キャンプ名	実 施 日	派遣講師
① 美 幌	8月 1日(木) ～ 4日(日)	久世郁夫	② 房 総	8月 9日(金) ～12日(月)	志村和也
③ 岐 阜	8月11日(日) ～14日(水)	保坂正志	④ 広 島	8月15日(木) ～18日(日)	保坂正志
⑤ 北部九州	8月15日(木) ～18日(日)	山崎政弘	⑥ 鹿児島	8月 8日(木) ～11日(日)	山崎政弘

6. 第8回SYDボランティア奨励賞

(1) 募集活動

募集パンフレット18,000部を作成し、《出前講座》開催校、全国の中・高・大学へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会へ広報依頼をしたところ、全国34都道府県から87件の応募があった。

(2) 選考委員会の開催

日 時 平成26年1月20日(月) 11時～13時30分

会 場 SYD会議室

出席者 選考委員8名 大野 曜(日本女性学習財団理事長)
仲野好重(一般財団法人人間塾代表理事)
長沼 豊(学習院大学教授)
堀井榮夫(全日本中学校長会事務局長)
山田一功(公益社団法人日本PTA全国協議会相談役)
國分正明(SYD修養団理事長)
山崎一紀(SYD修養団専務理事)
青木富造(SYD修養団青年部長)

職 員3名 岩佐加寿子、真下淳一、山口千恵子

《選考結果》*選考委員会の席上、選考委員からの強い希望により、今回に限り「理事長特別賞」を設けた。

文部科学大臣賞 1点

鳥取大学障害児教育研究会

(鳥取県)

理事長特別賞 1点

石巻市立牡鹿中学校「笑顔創造プロジェクト」

(宮城県)

優秀賞 2点

【小・中学生の部】 宇都宮市立泉が丘中学校

(栃木県)

【高校生の部】 京都府立宮津高等学校 建築家

(京都府)

【大学生・一般の部】 該当なし

特別賞 3点

北海道小樽工業高等学校 ボランティア同好会

(北海道)

福島県立平工業高等学校 生徒会

(福島県)

身延山高等学校 手話コミュニケーション部

(山梨県)

(3) 贈呈式

日 時 平成26年2月11日(祝・火) 13時～15時

会 場 SYDホール

出席者 49名(受賞関係者15名、来賓2名、一般参加者32名)

内 容 文部科学省スポーツ・青少局青少年課長 川又竹男様より来賓祝辞と文部科学大臣賞の贈呈、選考委員・(公財)日本女性学習財団理事長の大野曜様より選考経過を報告、國分理事長より優秀賞と特別賞の贈呈、その後各賞受賞者から挨拶と活動発表があった。

Ⅱ．国際交流活動

1. 青年ボランティア・アクション in フィリピン

(1) 青年ボランティア・アクション in フィリピン 《文部科学省後援》

開催日 8月20日(火)～26日(月)＜6泊7日＞
 訪問地 フィリピン(マニラ市、ケソン市、他)
 スタッフ 青木富造、山口千恵子
 参加者 29名(全国の中学生〈15歳以上〉及び高校生以上の青年リーダー)

(2) 青年ボランティア・アクション in フィリピン支援バッグ作成作業

期 日 8月14日(水) ＜＊1日で作業終了の為、15・16日は中止＞
 会 場 SYDホール
 参加者 21名

2. ブラジルとの指導者交流事業

(1) ブラジルへの指導者派遣

派遣期日 平成26年1月3日(金)～2月13日(木) ＜42日間＞
 派遣先 ブラジル(サンパウロ、モジ、スザノ、マリンガ 他)
 派遣者 保坂正志(講師・社会活動部主任)
 活 動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会 等

講習・講演会名	参加数	スタッフ・リーダー等	計
モジ・ダス・クルーゼス少年少女講習会	138	53	191
スザノ少年少女講習会	128	56	184
アサイ少年少女講習会	90	27	117
マウア・ダ・セーハ少年少女講習会	43	31	74
ロンドリーナ リーダー養成研修会	63	22	85
マリンガ少年少女修養林間学校	111	44	155
ビンチーバミリン リーダー研修	48	4	52
マウア・ダ・セーハ講演会	20	—	20
マリンガ講演会	105	—	105
リベルダーヂ商工会 講演会	17	—	17
合 計	763	237	1,000

(2) ブラジル青少年指導者の招聘

招聘期日 7月15(月)～8月8日(木) ＜25日間＞
 招 聘 者 加藤 美佐江 ミシェーレ(26歳・社会人)
 大竹 誠一 ウェリントン(20歳・大学生)
 主な日程 本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ、都内視察 他

3. 関係団体協力事業(関係機関・団体主催事業への派遣・受入活動協力)

(1) 派遣事業

ア.「日独学生青年リーダー交流事業」への推薦

主 催 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
研 修 等 事前研修会：8月 3日(土)～ 4日(日)＜1泊2日間＞
合宿セミナー：8月30日(金)～9月1日(日)＜2泊3日間＞
＊会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
期 日 9月10日(火)～24日(火)＜15日間＞
派 遣 先 ドイツ連邦共和国
派 遣 者 渋谷 喜考 (芝浦工業大学2年)

(2) 受入協力事業

ア. 内閣府等主催「外国青年招聘・青年社会活動コアリーダー育成プログラム」受入協力

期 日 平成26年2月27日(木) 10時～15時30分
会 場 SYDホール・SYD会議室
出 席 者 山崎一紀、久世郁夫、外国青年リーダー10名

公益2

Ⅲ. 講習会・講演活動

1. 伊勢講習会 会場：伊勢青少年研修センター

(1) みがく講習会(定例講習会)

〈別表－7〉

開 催 数 10回 ＜各3泊4日＞
参 加 者 426名(定員各60名)
対 象 企業の新入社員・中堅社員・幹部社員他

(2) みがく特別講習会

〈別表－7〉

開 催 数 4回 ＜各1泊2日＞
参 加 者 451名(定員各100名)

(3) 特別講習会

ア. 神嘗祭講習会

期 日 A：初穂曳コース：10月15日(火)～17日(木) ＜2泊3日＞
B：神嘗祭コース：10月16日(水)～17日(木) ＜1泊2日＞
参 加 者 A：103名
B：52名 計155名(定員各50名)

イ. 初詣新春の集い

期 日 平成26年1月12日(日)～13日(月) ＜1泊2日＞
参 加 者 95名(定員80名)

ウ. お白石持特別講習会(新規)

〈別表－8〉

開 催 数 5回
期 日 7～8月＜各1泊2日＞
参 加 者 712名(定員各150名)

(4) 受託講習会

〈別表－9〉

開催数 10回
参加者 672名

(5) 一般講習会

〈別表－10〉

開催数 37回
参加者 2,512名

2. 関東・東北地区講習会

(1) 新入社員セミナー

期 日 4月10日(水)～12日(金) <2泊3日>
会 場 レイクサイド磐光(福島県)
講師等 5名(木下茂美、岡村精二、山崎一紀、根岸秋吉、山崎政弘)
参加者 61名(男:31名、女:30名)

(2) リフレッシュセミナー

期 日 平成26年2月12日(水)～14日(金) <2泊3日>
会 場 レイクサイド磐光(福島県)
講師等 4名(鈴木義信、山崎一紀、根岸秋吉、山崎政弘)
参加者 16名(男:16名、女:0名)

(3) 受託セミナー

〈別表－11〉

ア. 新入社員セミナー

- ① 1日コース
開催数 2回
参加者 32名
- ② 1泊2日コース
開催数 6回
参加者 422名
- ③ 2泊3日コース
開催数 4回
参加者 109名

イ. ブラインドウォークセミナー

- ① 半日コース
開催数 9回
参加者 237名

ウ. パート社員セミナー

- ① 1日コース
開催数 14回
参加者 1,134名

エ. 一般社員セミナー

- ① 1日コース
開催数 6回
参加者 284名
- ② 1泊2日コース
開催数 14回
参加者 677名

(4) 企業組織巡回

講演会、講習会の参加者募集及び団運動の拡大を目的として企業等の巡回を行った。

- ・北陸地区 9月18日～20日(10社)
- ・茨城県下 10月 2日～ 4日(15社)
- ・福島県下 11月12日～15日、21日(28社)

*連合会・クラブ、企業・青少年団体等主催講習会・講演会(集計)〈別表-12〉

(1) 講習会

開催数 95回
参加者 5,796名

(2) 講演会

開催数 25回
参加者 2,383名

IV. 家庭教育活動

1. 家庭力アップ・セミナー(新規事業)

家庭が本来持っている機能・役割を「家庭力」とし、それをさらにアップ(発揮)させて、より幸せな家庭をつくり、学校や職場、地域社会をイキイキと明るくすることを目指して実施した。

このセミナーでは、家族のコミュニケーションの重要性を基本とし、講演とワークショップ(会話劇と話し合い)をおこない、生き方を見直し、生活習慣の改善など実践への意欲を高めた。

開催に当っては連合会・クラブが実施団体となり、諸機関・団体の後援・協力を得た。なお、各地での開催に先立って、関東地区5クラブの参加協力(20名)を得て、8月24日に東京(SYD会議室)でプレ・セミナーを開催して事業の充実を図った。

(1) 開催状況

開催日	開催地	会場	実施団体	参加者数	講師
11月16日(土)	新潟県 新潟市	豊栄地区 ふれあい センター	修養団豊栄	45	宝井琴柑 久世郁夫
11月23日 (土・祝)	新潟県 上越市	上越市 市民プラザ	修養団上越 共催：上越市・上越市教育委員会 後援：上越市地域青少年育成 会議協議会	28	横瀬和夫 久世郁夫 保坂正志
1月19日(日)	香川県 高松市	香川県教育会館	修養団香川県連合会	72	岩佐壽夫 久世郁夫
2月8日(土)	北海道 美幌町	しゃきっと プラザ 健診ホール	修養団美幌会 協力：SYD修養団端野会 後援：美幌町教育委員会	55	久世郁夫
2月22日(土)	鹿児島県 鹿児島市	武・田上公民館	修養団鹿児島県連合会 後援：鹿児島県教育委員会	23	久世郁夫
3月16日(日)	埼玉県 寄居町	男衾コミュニテ ィーセンター	修養団寄居クラブ 後援：修養団埼玉県連合会	39	久世郁夫
合計	6会場			262名	10名

(2) 学習資料の作成

下記の学習資料を作成し、セミナー参加者に配布・活用した。

タイトル 「家庭力アップ手帳」～大人も、子供も、地域も 元気に！～

体裁 A5版、本文18頁（表紙1・4カラー）

印刷部数 1,000部

2. 家庭教育講座・講演会

10月 6日 喜多方市立山都小学校PTA「家庭教育学級(講演と分科会)」《協力：
修養団山都愛汗の会、修養団福島県連合会》(同校体育館) 60名

【久世】

11月19日 修養団福島県連合会「小山田幼稚園教育講演会」(郡山市・同幼稚園)
130名

【根岸】

V. 会員・組織活動

1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員および連合会等の会員組織と連携を図りながら、下記事業・活動を展開し、「幸せの種まき運動」を推進した。

(1) 愛汗実践塾

「愛と汗」をはじめとする修養団の理念について理解を深め、実践への意欲を高めるとともに、会員組織の後継者育成および地域社会や職場・学校等におけるリーダー養成の機会として実施した。

開催日	開催地	会場	実施団体	参加者数	講師
10月 7日(月)	新潟県 田上町	You 遊ランド	修養団新潟県連合会	14	久世郁夫
10月18日(金)	福島県 喜多方市	熱塩加納公民館	修養団愛汗喜多方 協力：修養団山都愛汗の会	43	久世郁夫 保坂正志
12月14日(土)	山口県 山陽小野田市	きらら交流館	修養団宇部市連合会	20	岡村精二 久世郁夫
合計	3会場			77名	5名
前年度合計	3会場			47名	5名

※新潟県連合会は「秋季研修会」を兼ねて実施した。

※宇部市連合会は「ヤングセミナーin うべ」を兼ねて実施し、翌日は第43回宇部市街頭美化清掃にスタッフとして参加。

(2) 第5回チャリティー「バザーと演芸会」ーストリートチルドレン支援ー

開催日 6月22日(土)

《バザー》

時間 11時30分～13時30分

会場 SYDビル1階エントランスホールほか

参加者 300名

係員 41名(ボランティア・職員)

《演芸会》～落語と江戸曲独楽の巻～

時 間 13時30分～15時30分

会 場 SYDホール

参加者 65名

係 員 8名（ボランティア・職員）

出演者 〈落語〉立川談四楼、立川談修、立川らく次 〈江戸曲独楽〉三増れ紋

※収益金 127,198円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

（3）第10回「平田康子チャリティーJAZZコンサート」ーストリートチルドレン支援ー

ジャズ・ヴォーカルの平田康子さんをはじめとするプロミュージシャン8名が出演し、全16曲を披露した。

開 催 日 10月4日（金）18時30分～20時45分

会 場 SYDホール

参 加 者 201名

出 演 者 平田康子、谷口英治、有田純弘、田窪寛之、本川悠平、岡田朋之、出口優日、中田瞳子

※収益金379,354円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

2. 東北（石巻）復興プロジェクト

平成23年8月から行ってきた復興ボランティア隊は、7月まで石巻市のSYDボランティアハウス（7月末で契約終了、今年度他団体利用は無かった）を拠点におこない、9月からは当初計画になかった漁業支援活動を実施し、それぞれ青年を中心としたボランティアを展開した。

（1）SYD復興ボランティア隊 in 石巻 〈各2泊3日〉

宮城県南三陸町での作業とともに、女川視察、大川小学校慰霊、被災者との懇談などをおこなった。

回	期 日	参加者数	スタッフ	主な活動内容
第1回	4月27日(土) ～29日(月・祝)	9	山崎政弘	荒磯漁港わかめ等の収穫、平磯地区の畑の石拾い
第2回	5月11日(土) ～13日(月)	7	山崎政弘	平磯地区の石拾い、荒磯地区の畑作り
第3回	5月25日(土) ～27日(月)	4	山崎政弘	寺浜地区井戸掘りと側溝泥出し、西田地区の瓦礫撤去
第4回	6月 8日(土) ～10日(月)	8	山崎政弘	田尻畑地区、平磯地区の瓦礫拾い・分別作業
第5回	6月22日(土) ～24日(月)	8	山崎政弘	田尻地区畑の石拾い、峯畑地区水路の瓦礫撤去とヘドロ出し
第6回	7月20日(土) ～22日(月)	9	山崎政弘	田尻畑地区の畑の石拾い、伊里前地区の復興商店街付近の瓦礫拾い・分別作業
合 計	6回	45名	6名	

(2) SYD漁業復興ボランティア隊 〈各2泊3日・新規〉

津波で大きな被害を受け、また、漁業再開のための人手が足りない石巻市・狐崎漁港において、漁業復興の一助として青年などが参加し作業をおこなったほか、地元漁師から漁業の現状などの話を聞いた。

回	期 日	参加者数	スタッフ	主な活動内容
第1回	9月21日(土) ～23日(月・祝)	7	保坂正志 山崎正弘	牡蠣の選定作業、稚貝種付け用ホタテ貝の穴あけ作業など
第2回	10月26日(土) ～28日(月)	現地受け入れ側の都合により中止		
第3回	11月2日(土) ～4日(月・祝)	8	真下淳一 山崎政弘	牡蠣の選別作業など
第4回	11月16日(土) ～18日(月)	参加申込者が少なかったため中止		
第5回	11月30日(土) ～12月2日(月)	3	保坂正志 山崎政弘	牡蠣を海へ戻すため、カゴの洗浄とカゴへの牡蠣入れ作業
第6回	12月21日(土) ～23日(月・祝)	7	根岸秋吉 保坂正志	牡蠣の分別作業など
合 計	4回	25名	8名	

3. 会員組織活動への支援など

(1) 第2回「全国修養団運動推進会議」の開催

日 時 6月1日(土) 13時～17時30分

会 場 SYDホール

出席者 64名

主な連合会・クラブの代表者またはそれに準ずる人 39名

オブザーバー 5名

役職員 20名

内 容 「名誉団員称号」贈呈式の後、平成24年度事業報告と決算および25年度事業計画と予算の概要説明をおこなった。続いて、質疑応答および会員組織活動活性化についての協議と会員組織活動の情報交換をし、協議終了時には「宣言」を採択。「宣言」は、6月20日に全国の連合会・クラブに文書によって伝えた。

(2) 講師・役職員の派遣

連合会等の総会や諸活動に講師・役職員を派遣した。 回数: 18回

* 下記は、開催日、事業名、会場、参加者数、派遣者名の順

4月20日 修養団新潟県連合会「定期理事会並びに役員総会」(新潟市・新潟東映ホテル) 22名【久世】

4月22日 修養団美幌会「第28回皇居勤労奉仕団“SYD本部訪問・講演(山崎)”」(SYD会議室) 35名【山崎】

5月11日 SYDボランティア友の会「第6回総会・記念講演〈白木大五郎氏、三遊亭圓塾師〉」(SYD会議室) 8名【山崎、久世】

5月18日 修養団愛汗郡山「第8回定例総会」(郡山市・花の祥) 7名【久世】

6月1日 修養団よよぎっこ倶楽部「笑顔のつどい」(東京都・キングスランド) 40名【山崎ほか】

6月6日 修養団伊勢いなほの会「第6回総会・講演(久世)」(伊勢青少年研修セ

	ンター) 21名【久世、武田】
6月 7日	修養団愛汗喜多方「平成25年度総会」(喜多方市・厚生会館) 31名【久世】
6月16日	修養団鹿児島県連合会「平成25年度総会・講演(久世)」(鹿児島市・加治屋町民館) 11名【久世】
6月28日	修養団福島県連合会「平成25年度理事会・通常総会」(郡山市・ベルヴィ郡山館) 26名【山崎】
6月28日	修養団神奈川県連合会「第32回定期総会」(横浜市・日立システムズはせがわビル) 14名【久世、小川】
7月 5日	修養団千葉県連合会「第39回定期総会・記念講演(浅野照子氏)」(千葉市・バーディーホテル千葉) 21名【久世、志村】
7月 5日	修養団日立システムズ五十鈴会「第25回定期総会」(東京都・日立システムズ本社) 23名【山崎、小川】
7月 8日	修養団(旧)日立電子サービス五十鈴会OB会「第3回総会」(横浜市・日立システムズはせがわビル) 11名【久世、小川】
11月23日	修養団福島県連合会等「故・市川昭春さんを偲ぶ会」(郡山市・開成斎場) 30名【山崎】
12月 6日	神奈川県・千葉県・東京都各修養団連合会「打ち合わせ会」(SYD小会議室) 4名【久世】
12月15日	修養団宇部市連合会「第43回宇部市街頭美化清掃」(宇部市内) 420名【久世】
12月23日	皇居参賀の集い実行委員会(千葉県・神奈川県・東京都各修養団連合会)「天皇誕生日・奉祝～皇居参賀の集い」(東京都・皇居) 73名【山崎、真下、小川】
3月13日	修養団東松山向上会「第49回箭弓神社美化清掃と講話(根岸)」(東松山市・箭弓稻荷神社) 45名【根岸】

(3)「修養団創立108周年を祝う集い」への支援

神奈川県・千葉県・東京都各修養団連合会の合同主催で実施され、その支援を行った。

開催日	2月11日(祝・火)
会場	SYDホール
内容	〈第1部〉第8回「SYDボランティア奨励賞」贈呈式 *参加者49名(ボランティア奨励賞受賞関係者15名を含む) 〈第2部〉記念式・修養団年次功労者表彰 記念講演「慈眼愛語の人～修養団創立者・蓮沼門三先生」 〈講師：坂本大生SYDボランティア友の会会長〉 *参加者45名(功労者表彰受賞者7名を含む) 〈第3部〉祝賀会 *参加者37名

(4) 皇居勤労奉仕団への支援

ア. 修養団島根会「島根県皇居勤労奉仕団」

期 日	10月27日(日)～31日(木)	〈4泊5日〉
参加者数	20名	
派遣職員	小川幸恵	
*10月30日に修養団本部を訪問(挨拶・講話/山崎一紀)		

イ. 修養団大和みどりの会「広島県皇居勤労奉仕団」
期 日 11月4日(月)～9日(土) 〈5泊6日〉
参加者数 20名
派遣職員 小川幸恵
* 11月5日に修養団本部を訪問(挨拶・講話/山崎一紀)

(5) 喜多方市教育委員会「人づくり指針事業」への支援

ア. 講師の派遣

- 1月19日 松山町民教養講座 講演「蓮沼門三と修養団」
《実施：松山公民館、協力：修養団愛汗喜多方》(松山公民館)
100名【山崎】
1月26日 新春・関柴の集い講演会「愛と汗の人・蓮沼門三」《実施：関柴公民館、協力：修養団愛汗喜多方・修養団福島県連合会》(関柴公民館)
120名【立川らく次、久世】

* 修養団愛汗喜多方は、喜多方市教育委員会の要請に応じて会員が分担し、小学校2校(姥堂小学校、第三小学校)で総合的な学習の時間に講話や紙芝居で蓮沼門三初代主幹の生き方や考えを紹介した。また、2公民館(熱塩加納、高郷)では、DVD上映や講話で、蓮沼門三初代主幹の人と思想について伝えた。

(6) 諸団体との連携

- 4月19日 社会教育団体振興協議会「第1回幹事会」(SYD会議室)【山崎、久世】
5月19日 東京青年ホームOB会「大柴和民君を偲ぶ会」(SYD会議室)
5月21日 千修会「第1回理事会」(SYD会議室)
6月21日 千修会「平成25年度総会・記念講演(牛久保英昭氏)」(SYD会議室)【久世】
6月24日 社会教育団体振興協議会「平成25年度総会」、「第41回社会教育関係者懇親の集い」(東京都・スクワール麹町)
【國分、山崎、久世、真下(集い係員)】
10月28日 千修会「にこにこバスツアー(さつまいも収穫など)」(埼玉県嵐山町)【根岸】
11月 8日 (財)日本青年館「第69回田澤義鋪記念会・講演(島田修一氏)」(東京都・日本青年館)【久世】
12月 9日 社会教育団体振興協議会「第2回幹事会」(SYD会議室)【山崎、久世】
12月10日 千修会「第2回理事会」(SYD会議室)
2月27日 内閣府主催「外国青年招聘・青年社会活動コアリーダー育成プログラム」受入協力《外国青年13名他》【山崎、久世】
3月10日 社会教育団体振興協議会「第29回文部科学省と語る会」(東京都・スクワール麹町)【國分、久世】

4. 会員状況と会員組織

諸事業において会員申込案内パンフレットを配布した。また、機関誌等によって会員拡大を呼びかけるとともに、連合会・クラブには、特に夏期事業等を通じての会員加入促進をお願いした。

(1) 会員の現状

〈別表－13〉

会員種別	当年度(26. 3. 31現在)	前年度(25. 3. 31現在)	増減
ふれあい会員	5 5 5	4 0 3	1 5 2
愛 会 員	7 9 8	8 7 3	△ 7 5
向上会員	1, 7 1 9	1, 8 7 9	△ 1 6 0
永生会員	1 0, 7 2 8	1 0, 7 2 8	0
合 計	1 3, 8 0 0	1 3, 8 8 3	△ 8 3

(2) 後援会会員の現状

会員種別	当年度(26. 3. 31現在)	前年度(25. 3. 31現在)	増減
法人会員	1 0 1	1 0 1	0
個人会員	1 6 2	1 5 2	1 0
合 計	2 6 3	2 5 3	1 0

VI. 幸せの種まき献金活動

1. 募金活動

会員組織、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動を行った。引き続いて東日本大震災被災者支援について呼びかけるとともに、10月の台風26号で多数の死傷者を出した伊豆大島、台風30号で大きな被害を受けたフィリピンに対しても支援を呼びかけた。

単位：円

		25年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
月計金額		318,704	371,463	455,285	190,282	203,318	189,631
《一般献金》		129,304	202,561	290,670	98,867	64,998	124,832
《指定献金》		189,400	168,902	164,615	91,415	138,320	64,799
指定 献金 内 訳	東日本大震災被災者支援	34,400	57,920	57,000	48,021	73,320	50,000
	台風被災者支援	0	0	0	0	0	0
	子ども学資支援	150,000	45,000	75,000	30,000	15,000	0
	大学生学資支援	0	19,000	1,244	13,394	0	4,799
	学校支援	5,000	46,982	31,371	0	0	10,000
	子ども医療支援	0	0	0	0	50,000	0

		10 月	11 月	12 月	26年 1 月	2 月	3 月
月計金額		708,786	1,527,459	1,368,000	151,347	154,103	376,507
《一般献金》		545,552	302,355	1,122,520	45,060	53,995	183,744
《指定献金》		163,234	1,225,104	245,480	106,287	100,108	192,763
指定 献金 内 訳	東日本大震災被災者支援	114,720	62,004	70,980	18,160	0	95,020
	台風被災者支援	0	1,113,100	77,000	10,000	6,903	0
	子ども学資支援	45,000	30,000	45,000	60,000	90,100	60,000
	大学生学資支援	3,514	0	32,500	18,127	3,105	17,743
	学校支援	0	20,000	20,000	0	0	20,000
	子ども医療支援	0	0	0	0	0	0

		今年度合計		前年度合計	
年間合計金額		6,014,885	(266 件)	5,606,495	(278 件)
《一般献金》		3,164,458	(150 件)		
《指定献金》		2,850,427	(116 件)		
指定献金内訳	東日本大震災被災者支援	681,545	(35 件)		
	台風被災者支援	1,207,003	(17 件)		
	子ども学資支援	645,100	(39 件)		
	大学生学資支援	113,426	(13 件)		
	学校支援	153,353	(11 件)		
	子ども医療支援	50,000	(1 件)		

〈チャリティーツアーの実施〉

献金委員会の呼びかけで、関東地区において募金活動の一環として、春（いちご狩り）と秋（ぶどう狩り）に修養団のバスを利用しチャリティーツアーを実施、合計 193,362 円を献金した。

開催日 春：4月20日（土）、秋：11月10日（日）

参加者数 春：23名、心の参加者14名、秋：24名、心の参加者8名

*心の参加者＝参加できないが、趣旨に賛同して献金してくださる人

2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子供45名、大学生3名の学資支援、380名の子供たちが学ぶ2つの学校の支援を行い、ブラジルの施設も支援した。また、東日本大震災と台風の被災者及び福祉施設・団体への支援を行った。

（※＝全て指定献金／**＝一部指定献金）

〈東日本大震災被災者支援〉

- ・「SYD復興ボランティア隊 in 石巻」活動経費 439,344 円※
(6回分、ガソリン代・高速代・備品代等)
- ・「SYD漁業復興ボランティア隊」活動経費 278,382 円※
(4回分、ガソリン代・高速代等)
- ・「青少年仮設住宅訪問(炊き出し)ボランティア(特別開催)」活動経費 95,152 円※
(1回分、食材費)

〈その他の災害被災者支援〉

- ・フィリピン：台風30号災害被災者支援 ㊦1 1,250,000 円※
- ・フィリピン：サンマテヨ市の豪雨・洪水被害による避難所生活者支援 30,000 円
- ・伊豆大島：台風26号災害復興支援（仮設住宅への花配り）㊦2 100,000 円

〈ストリートチルドレン支援〉

- ・フィリピン：ストリートチルドレン(学用品プレゼント、遠足招待等) 550,000 円
- ・フィリピン：子ども(幼稚園～高校生)学資支援(スカベンジャー・45名) 675,000 円※
- ・フィリピン：大学生学資支援(スカベンジャー・3名) 450,000 円**
- ・フィリピン：「パンガラップ・ラーニング・スクール」 1,200,000 円**
(学校運営支援・10万円×12ヵ月)
- ・フィリピン：ストリートチルドレン(医療費) 50,000 円※
- ・フィリピン：「マザー・テレサの家」(支援品) 31,140 円
- ・ブラジル：「コロニア・ベネーザ」(教育支援金) 70,000 円

〈福祉施設・団体支援〉

・福 島 県： 特別養護老人ホーム「北原荘」	30,000 円
・福 島 県： 特別養護老人ホーム「しょうぶ苑」	30,000 円
・福 島 県： 山都デイサービスセンター「しゃくなげホーム」	30,000 円
・三 重 県： 伊勢身体障害者「協和会」	80,000 円
・三 重 県： 特定非営利活動法人「たまき末芳園」	80,000 円
・三 重 県： 社会福祉法人まほろばの里「しいの木園」	30,000 円

合 計 5,499,018 円

前年度合計 5,542,532 円

- ㊦⇒【内訳】①バサイ市の一時避難所へ支援金27万円と支援品の下着を43万円分購入して届けた。
 ②サマル島への医療チームの派遣支援と医薬品代、50万円（サン・マテヨ市を通じて）
 ③ワークショップグループ「Women's Action」への支援金5万円（レイテ島、サマル島の子
 どもたちを訪問し心のケアをしている）

- ㊦⇒「都立大島海洋国際高等学校ボランティア部」との共同実施。

3. 幸せの種まき献金委員会の開催

（1）幸せの種まき献金委員会の開催

以下のように定期的に開催し、活動の充実・推進について協議した。

平成25年 4月8日、5月9日、6月12日、7月10日、9月9日、10月11
 日、11月11日、12月6日

平成26年 1月8日、3月3日

（2）報告書の作成・配布

平成24年度活動報告書(1,500部)を発行し、連合会・クラブ、募金して下さった方々
 などに送付した。

公益3

VII. 出版・広報活動

1. 機関誌「向上」「愛」の発行

（1）「向上」

号	発行部数	随想テーマ
4月号	3,400	あいさつから始まる
5月号	3,200	母の思い
6月号	3,400	父の思い
7月号	3,600	私が成長した時
8月号	3,200	違いを受け入れる
9月号	3,200	伝えたいこと
10月号	3,300	約束を守る
11月号	3,200	大切にする
12月号	3,300	言えなかったこと
1月号	3,600	幸せの種まき
2月号	3,700	元気をくれた言葉
3月号	3,400	人生の岐路で
合 計	40,200 部	(前年度40,200部)

(2)「愛」

号	発行部数	備 考
4月号	1,500	
5月号	1,500	
6月号	1,600	
7月号	2,200	「ふれあい特集号」394部含む
8月号	1,900	
9月号	1,400	
10月号	1,500	
11月号	2,000	「ふれあい特集号」524部含む
12月号	1,600	
1月号	1,700	
2月号	1,900	
3月号	2,000	「ふれあい特集号」550部含む
合 計	20,800部	(前年度21,300部)

2. 平成26年版「日々の力」の制作・販売

(1) 制作

題 名 「集まれ 元気」
 作 者 〈絵・文字〉佐藤 和喜 (墨彩画家)
 内 容 明るく元気な職場づくり、心温まる家庭づくりなどに役立つ31の言葉を配し、多くの方々の“日々の力”となるよう制作した。
 体 裁 日めくり式短冊形・33枚、カラー刷り
 印刷部数 18,000部(宣伝用含む)
 第1回納品ー7月18日、第2回納品ー8月23日

(2) 販売

ダイレクト・メールや「向上」誌等で会員や「日々の力」愛好者への普及に努めるとともに、会社・団体の年末年始贈答品としてのご利用を呼びかけた。

区 分	件 数	部 数
SYDオリジナル	97	2,617
予 定 表 付	32	277
無 地	49	631
注文名入れ印刷	59	11,150
合 計	237件	14,675部
前年度合計	231件	15,673部

- ※ 7月19日・22日 連合会・クラブ、顧客へ案内チラシや見本を送付。
- ※ 9月 6日 伊勢青少年研修センター関係企業(主にJC) 350社へ案内チラシ送付
- ※ 9月11日～12日 修養団新潟県連合会の協力を得て新潟県下9社を販売促進活動活動で訪問【保坂】

3. 教育図書の普及、教材の販売

『人生のことば365日』、『蓮沼門三物語』などの図書、研修教材の『人生ガイドー研心』などを普及・販売した。

4. 「SYDかわらばん〈最新活動情報〉」の発行・送付

SYD事業や会員組織活動の最新情報を届けることを目的に、毎月20日頃(8月を除く)に各1,200部(4頁または6頁)を発行し(N0.62~72)、連合会・クラブ、評議員等へ送付するとともに、事業参加者等に手渡し配布した。

また、その全記事をSYDホームページ「webかわらばん」で紹介した。

5. 広報活動

(1) ホームページの充実

SYD事業の予定や報告、参加者募集の呼びかけ、さらに、SYDの理解を深めてもらうための各種情報を発信した。

(2) 「SYDガイド」の制作・活用

SYD事業などを紹介した内容で、事業名や写真を新たにして8,000部を制作、各種事業等で配布するなど広報・宣伝に活用した。

公益4・収益1

VIII. 施設運営事業

1. 伊勢青少年研修センター

〈別表-14〉

(1) 利用状況

ア. SYD主催講習会

開催数 24回(前年度19回)

参加者 2,469名(前年度1,405名)

イ. 受託講習会(修養団方式)

開催数 12回(前年度10回)

参加者 894名(前年度735名)

ウ. 一般研修会

開催数 37回(前年度31回)

参加者 2,512名(前年度2,441名)

2. ばんだいふれあいびあ

(1) 利用状況

月	利用団体数	利用者数	延べ利用者数
4月	1	20	60
5月	1	10	40
6月	1	11	22
7月	2	71	213
8月	3	224	753
9月	2	37	111
10月	1	26	78
11月	1	9	27
12月	1	86	430
1月	1	20	60
2月	1	7	7
3月	3	95	429
合計	18回	616名	2,230名
前年度合計	26回	681名	2,520名

(2) 施設の整備等

ア. (公財)森村豊明会「ばんだいふれあいぴあ畳替え助成事業」

事業総額 1,638,000 円で申請し、9月17日付で1,600,000 円の助成決定通知を受けた。5棟147畳の畳替え作業(一部表替え)は、9月25日から開始し、10月8日終了した。

イ. 給水設備工事

夏期における水不足を解消するために新たに地下水を汲み上げるためのボーリング作業を9月に行った。地下24mで水源に達したが、水質検査の結果、飲料水に適さなかったため、トイレや風呂で利用することとし、そのための給水設備工事を10月28日～29日に行った。

ウ. 寝具の整備

4月に布団3点セット(敷き布団、掛け布団、枕)50組、9月に毛布50枚を購入した。

エ. その他

青年部および青年有志により、センター棟軒下のペンキ塗りや網戸交換、食事用木製テーブルの作製など継続して行った。

3. 修養団SYDビル

(1) SYDホールおよび会議室の貸出状況

ア. SYDホール

回数 158回(前年度163回)

利用者数 18,260名(前年度19,700名)

イ. SYD会議室(16階)

回数 47回(前年度47回)

利用者数 830名(前年度900名)

4. 関西会館

平成24年10月よりテナントスペースが空室になったため、近鉄住宅管理株式会社へ仲介を依頼し、テナントの募集を行っているが、契約に至らず未だ空室である。

その他

IX 関係機関・団体との協力活動

1. 関係機関・団体への委員等の就任

文部科学省独立行政法人評価委員会
総務省安心ネットづくり促進協議会
NPO法人自然体験活動推進協議会
社会教育団体振興協議会

〃

〃

臨時委員 青木富造
委員 青木富造
評議員 青木富造
会長 國分正明
副会長 山崎一紀
幹事 久世郁夫

X. 表 彰

1. 平成25年度修養団年次功労者表彰(創立108周年)

名誉団員 1名 [追贈] 市川昭春(福島)

特 別 賞 【蓮沼賞】

5名 岡崎靖子(北海道)、大澤君一(福島県)
木須行孝(福島県)、池田邦彦(神奈川県)
野口友美(福岡県)

表 彰 個人: 3名 団体: 1団体

感 謝 状 個人: 8名 団体: 6団体

XI 諸会議の開催等

1. 理事会

(1) 第1回理事会

期 日 5月14日(火)
会 場 SYD会議室
出席理事 11名 欠席理事 3名
出席監事 2名 欠席監事 1名
議 題 ア. 平成24年度事業報告について
イ. 平成24年度収支決算について
ウ. 平成25年度上期慰労手当の支給について

(2) 第2回理事会

開 催 日 12月17日(火)
会 場 SYD会議室
出席理事 10名 欠席理事 5名
出席監事 1名 欠席監事 2名
議 題 ア. 平成26年度基本方針(案)・事業計画大綱(案)について
イ. 平成26年度予算大綱(案)について
ウ. 次回の理事会について

(3) 第3回理事会

期 日 平成26年3月20日(木)
会 場 SYD会議室
出席理事 9名 欠席理事 6名
出席監事 1名 欠席監事 2名
議 題 ア. 平成26年度事業計画(案)について
イ. 平成26年度収支予算(案)について
ウ. 評議員会の招集について

2. 評議員会

期 日 5月31日(金)
会 場 SYD会議室
出席評議員 14名 欠席評議員 0名

- 議 題 ア. 平成24年度事業報告並びに収支決算について
 イ. 平成25年度事業計画並びに収支予算について
 ウ. 平成26年度事業計画への要望について
 エ. 関西会館について
 オ. 理事の選任について

3. 後援会役員会

期 日 6月11日（火）
会 場 SYD会議室
出 席 者 6名
本部役職員 3名
* 藤村正哉後援会長が高齢の為辞任。（会長席は空席）

4. 顧問会

期 日 6月24日（月）
会 場 SYD会議室
出 席 者 4名
本部役員 4名

5. 弔 事

恩人・名誉団員が逝去され、弔意を表した。（敬称略）

東 京 都	赤坂ムツ子	4月 6日（故赤坂繁太元理事長令室）
東 京 都	西來 武治	6月11日（医事評論家、『向上』執筆者）
福 島 県	市川 昭春	8月21日（元福島県連合会専務理事）
大 阪 府	青木 正信	2月11日（永生会員）
鹿児島県	川畑 境	3月 6日（元郡山支部長、鹿児島県連合会役員）
福 島 県	物江 敬止	3月 3日（名誉団員、元喜多方支部副支部長）
東 京 都	藤村 正哉	3月16日（顧問、前後援会長、三菱マテリアル名誉顧問）

6. その他

- (1) 日本政策投資銀行の借入金（351百万円）について、三菱東京UFJ銀行（200百万円）とみずほ銀行（151百万円）への借り換えを9月30日に実行。

平成25年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成26年5月

公益財団法人 修 養 団

後援会活動報告

平成25年度後援会活動は、6月11日の後援会役員会にておいて決定された事業計画に基づき、募金目標額は13,500,000円の達成をめざして6月中旬より活動を開始。

三菱グループ、三井グループ、住友グループ、宇部興産、フジタ、キッコーマン、北越紀州製紙、東芝等々法人会員101社、個人会員162名の方々の深いご理解と温かいご支援により、11,250,000円の会費収入を得る事ができた。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額10,942,665円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れた。

1. 会員移動状況

(敬称略)

(1) 新入会員〈個人会員 3名〉

(福島県) 小関 俊美 (新潟県) 樋口 春代
(東京都) 谷野 渉

(2) 逝去会員〈個人会員1名〉

(福島県) 市川 昭春

2. 募金活動

(1) 募金目標・募金実績 (単位・円)

〈募金目標〉		〈募金実績〉	
法人会費	11,500,000円	法人会費	9,500,000円
個人会費	2,000,000円	個人会費	1,750,000円
合 計	13,500,000円	合 計	11,250,000円

(2) 募金方法

ア. 文書活動

6月11日の後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、6月中旬より募金活動を開始。平成25年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛発送した。

イ. 訪問活動

6月下旬より関東地区法人会員各社を訪問し、平素のご支援の御礼と引き続きご協力をお願いをした。

3. 広報活動

(1) 修養団機関誌『向上』6月号に平成24年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と感謝の意を表すると共に平成25年度のお願いをした。

(2) 『向上』(平成25年度5月号より1年間)及び平成26年度版「日々の力」を法人、個人各会員に贈呈した。

4. 会 議

(1) 役員会

期 日 6月11日(木) 11時～13時

会 場 SYD会議室

出席者 会 長 藤村正哉

常任幹事 佐々木政伸、山本憲一、西村敏行、金川貴宣

監 事 芳賀 律(竹越徹監事代理)

修養団 國分正明、山崎一紀、岩佐加寿子

議 事

ア. 平成24年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について

イ. 平成25年度後援会事業計画案及び収支予算案について

ウ. 平成24年度修養団主要事業報告並びに

平成25年度修養団主要事業計画について

エ. その他

5. 収支報告 (4月1日～平成26年3月31日まで)

貸 方 (支出)	科 目	借 方 (収入)	前年度 (収入)
	会費収入 (法人)	9,500,000 (101 社)	9,500,000(101 社)
	〃 (個人)	1,750,000 (162 名)	1,600,000(152 名)
	そ の 他 の 収 入		
10,942,665	修 養 団 後 援 金		
2,900	旅 費		
9,450	印 刷 費		
90,479	通 信 運 搬 費		
154,907	消 耗 品 費		
31,979	会 議 費		
17,620	雑 費		
11,250,000	合 計	11,250,000	11,100,000